

大垣市民オリエンテーリング大会 2011,10,23

県協会の協力を得て成功した市民OL大会

大垣市OL協会は設立から35年間活動してきましたが後継者の育成不足のため、この3月で解散しました。秋の大垣市民大会は、大垣市民総合体育大会の校区對抗種目として、各小学校区から5チーム（1チーム3～5名で編成）が参加し、5チームの総合得点で順位を決める団体競技として、大垣市体育連盟が主管して行



っており、今年は第34回の大会でした。このため、OL競技を実施してほしいと体育連盟からの強い要望を受け、県協会に相談したところ快く賛同していただき大垣オリエンテーリング同好会を立ち上げ実施する事としました。



林さんがかねてから養老公園の地図の作図を手掛けておられたため、その地図を早急に仕上げてもらい使用して行いました。今までの地図と違い、見やすく位置説明が地図の用紙に印刷してあり便利なこと、参加者全員が地図を持って、競技が出来たことにより皆で考えることが出来良かったと好評を得ました。

当日は、中田さん夫妻も協力を得る予定でしたが、病気で手術が必要とのことで困っていたところ、牧ヶ野さん夫妻が急きょ駆けつけていただき、8名で行うことが出来ました。朝7時前から清水さんと手分けして、コントロールフラッグの取り付けを行い、県協会の方々には、8時30分に集合していただき、受付・スタート・ゴール等の設営、そして大会運営を行いました。皆さん手慣れたものでスムーズに行うことが出来ました。前日の雨天の影響で6チームの欠席がありましたが、参加57チーム224人、家族の部6チーム18人と例年に近い参加数でした。閉会式終了後来年も是非実施してほしいと数人のかたから要望され好評を受けました。県協会の皆さんには、朝早く遠方から来ていただき誠にありがとうございました。（大垣市オリエンテーリング同好会 県協会理事長 大場 尊美）

